



職場体験学習実施する

■6月初旬、三日間の日程で三年生が職場体験学習を行いました。■職場体験学習は、働くという実体験を通して、生徒たちに働くこと・生きることの意義を考えてもらうことを目的にしています。実施当初(平成9年)は1年生を対象に職場体験学習を実施していました。その後、職業意識などの醸成など学校の実態に合わせて計画を練り直し、今年度からは3年生での実施となりました。■今年の実習の特徴としては、浦幌町内だけではなく、帯広や音更など



浦幌高校日記

地元浦高の様子をお届けします

にも実習先の範囲を広げたことが一番に挙げられます。■体験学習の三日間で生徒達は、高校生という立場から職業人という立場に変わることによって、多くの新しい発見をすることができました。★「図書館で読んだ本を元の場所に返してくれないと、司書の方は大変なんだ。」★「調理の仕事は体力が必要だ。」★「印刷所はすごく明るい。」★「食器の扱いは難しい。」★「お店の中だけでなく、外もきれいにしなければならぬ。」★「子どもたちはパワフルだ。」(保育実習での感想) ★「生まれればかりの牛は大きい。」★「お客様との話

題づくりのために、天気などにも気をつけよう。」といった、これまでにはない「発見」が生徒達から多く聞かれました。そして、生徒達がこの三日間で共通して指導されたことは、「笑顔」と「言葉遣い」でした。

■職場体験学習で生徒達は、働くという大変さの中に充実と楽しさを見つけることができました。

■また6月16日、コスミックホールをお借りして「職場体験発表会」が行われました。参加した1、2年生全員を前にして、コンピュータによる映像をもとに自分達の体験や学んだ事柄などを3年生のそれぞれが発表しました。■大変お忙しい中、快く職場体験学習にご協力くださった各事業所の皆様、また暴風の中、発表会に出席をいただき、貴重なご意見をいただいた方々に重ねて感謝申し上げます。

■実習先事業所一覧(職場体験学習発表会での発表順敬称略)・浦幌町立図書館・浦幌町立しらかば保育園・浦幌印刷・うらほろ亭・浦幌町立給食センター・JICA帯広・健康美容「ゆらり」・柳月・郷牧場・特別養護老人ホームはまなす園・エプロン工房・グループホーム北札内ふれあい館・日立建機浦幌試験場

出前講義実施する

6月20日、出前講義を行いました。今回は道都大学と札幌学院大学から講師をお招きし、普段聞けない貴重な授業をしていただきました。生徒は自分の希望に沿って、それぞれの講義に臨みました。■札幌学院大学教授皆川氏からは「CG(コンピュータグラフィックス)制作の基礎と実際」という内容で講義をしていただきました。まずはスクリーンに様々なCG画像を写しながら、CGを作るための基礎知識やしくみについて熱心な説明をしていただきました。■授業の後半では、生徒が実際に学校のコンピュータを使って図形などを制作しました。得たばかりの知識をもとに、悪戦苦闘しながらも自分の手で少しずつ出来上がっていき、画面を



河川愛護月間 絵手紙募集

7月1日～31日は「河川愛護月間」です。河川愛護の意識を広く持つていただくために、川に対する思いや思い出を描いた絵手紙を募集します。優秀な作品は、平成19年度の河川愛護月間広報チラシ等で使用するほか幅広く活用します。また、優秀作品を集めた「絵手紙集」を作成する予定です。

○応募内容

一枚のはがきに川に対する思いや思い出、イメージを絵と文章で組み合わせて描いた絵手紙を作成してください。

○応募の決まり

官製はがきサイズ。デザイン、彩色、画材は自由です(写真を除く)。未発表のオリジナル作品に限ります。※応募作品は返却しません。

○応募資格

小学生、中学生、高校生
(ひとり1作品)

○応募方法

作品の裏に氏名、住所、電話番号、学校名、学年を記入の上、封書で応募してください。(住所、氏名、学校名には必ずふりがなをつけてください。)

○応募期限

9月22日(金)必着

○送付先

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3 …国土交通省河川局治水課内「河川愛護月間」絵手紙募集係

○問合せ先

国土交通省河川局治水課総務係(TEL 03-5253-8111 内線35523)

http://www.mlit.go.jp/river/index.html

楽しそうに見つめていました。■道都大学教授安田氏による「色彩について」では、色相、明度、彩度の色の三要素や三原色、補色など、色彩に関する基礎的な知識の説明をしていただきました。その後、配色カードを用いた色を組み合わせる実習が行われ、生徒達は目的に合わせて色の組み合わせや配色と人の個性との関係などについて学びました。■私たちが日常生活の中で「色」のないものを目にするということはほとんどありません。それにもかかわらず、色について意識することはあまりありません。しかし、私たちは無意識のうちに色からの影響を受けながら生活しているはずなのです。■生徒達にとっては普段意識することの少ない「色」について深く考えることのできた有意義な講義でした。今回学んだことを生徒も教員も貴重な財産として生かしていきたいと思えます。

避難・救急救命訓練実施する

去る6月19日、浦幌消防署のお力をお借りし、火災発生時を想定した煙の中の避難訓練と、救急救命の講習を行いました。■人工呼吸・心臓マッサージ等の心肺蘇生術に加え、近ごろ空港や様々な施設で設置されつつある、AED(拍動が停止した心臓への適切な電気ショックを自動的に与える最新機器)の使い方も学びました。■真剣さや迅速さでは、まだ不十分な点がありました。署員の方々の熱心なご指導で、発見や得るものが沢山ありました。本当にありがとうございました。



いました。

平和への願いを込めて

6月25日の平和祭で、生徒会長の吉田克之君、副会長の雁部雄輝君が本校生徒代表として平和の誓いを述べました。

「60年前、日本は戦争を放棄することによって、平和の道を歩み始めました。軍隊を持たず、外国に対して武力を行使しない、ただ純粋に平和を望む国になりました。……しかし、現在では……次第にその思いの先にあるものから遠ざかっているような気がします。……そして今、この瞬間にも……他国では大勢の犠牲者が出ています。■また、人々は戦争の影響による怪我や貧困、食糧不足に苦しんでおり、相変わらず多くの生命が奪われ続けているということはとても悲しいことです。■……平和について考えたとき、その根本にあるものは、思いやりや

人の命を尊重する気持ちだと思えます。相手の事を思っただけなら分かります。……人は相手の気持ちを思いやり、自分がどういう行動を取ればよいか考えて行動することができます。みんなでも多くのものを共有し、分かち合う、そのようなことができれば一人一人の中にある平和への思いが近づくのではないのでしょうか。■……すべての人が幸せに暮らせるような世界を創るためには、これからは生き抜く私たちの強い意志と、たゆまぬ努力が必要であり、……長い時が必要だと思えます。しかし、これまでの戦争による犠牲の上に築かれたもの、私たちが得たものを大切にし、心の中の平和の種を育み、生きていくことを誓います。■彼らの、そして浦幌からの平和への思いが、世界に届くよう願って止みません。(森教頭)